

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年2月3日（金）16時05分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、
鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・第1109回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合ご指摘事項について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁、鈴木です。これから、1109回の審査会合のラップアップということで、浜岡プレート間、
0:00:12	地震の津波評価このコメント回答介護のラップアップ面談を始めます。中部電力の方から資料として1枚ありますので、
0:00:23	まずコメントを前回会合のコメントをどうとらえてこの紙をまとめたのかということで、説明をお願いします。
0:00:34	はい。中部電力山野でございます。1月27日に実施されました第1109回の審査会合でいただきましたご指摘事項について整理して参りましたので、
0:00:45	ご説明さしていただいて、内容の確認をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。
0:00:55	はい。中部電力の森です。1109回の原子炉がゼンショーの新規制基準適合性に関する審査会合ご指摘事項についてというペーパー1枚でご説明させていただきます。
0:01:07	まず1、1ポツご説明内容ということで、プレート間地震の津波評価についてコメント回答ということでご説明させていただきました。
0:01:16	2ポツ目ご指摘事項につきまして、2点まとめております。
0:01:21	まず1件目、プレート間地震の津波評価の方針、論理構成を再点検し、
0:01:26	痕跡再現モデル、或いは検討波源モデルの位置付け、
0:01:30	パラメータスタディパラメータ整理の幅等を久米、
0:01:33	一連の体系的な内容として整理されているかを確認して説明すること。
0:01:38	2点目。
0:01:39	検討波源モデルのパラメータスタディ全体を再点検し、評価に漏れがなく、評価結果が変わらないかを確認して、説明すること。
0:01:48	以上、最後に稲村調整官にまとめていただいたところをベースに、記載を整理させていただきました。
0:01:54	今回このご指摘を踏まえまして、
0:01:58	特に審査会合の中でもご指摘ご示唆いただいております痕跡再現モデル、或いは検討波源モデル位置付けの部分の整理、
0:02:07	あと、パラメータスタディへパラメの項目、もしくは幅についての記載を概要として、再度まとめさせていただくということと、
0:02:18	あとは、審査ガイドとの対応等を整備させていただくということを現時点では考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	その上で、概要の部分に、資料の冒頭の概要の部分に、今回文字、文字起こし、文字起こしというか、文字ベースで、
0:02:34	論理構成を、方針を記載させていただいてますが、その充実化、
0:02:39	と、
0:02:41	スライド1枚に、1、
0:02:45	目次の1ページ程度で、
0:02:49	津波の評価の概要をまとめるということも考えてございます。
0:02:54	この辺りについて、もし、イメージと、我々と少し違うというようなことがございましたらご指摘いただけますと、幸い
0:03:03	説明は以上です。
0:03:08	はい。規制庁杉ですありがとうございますこれ二つポツがありますけど。
0:03:13	2個目の方が、あれですかね水位下降側とかのパラスターの話をした時の話で、1個目がその議論として後半管理官の内藤の方から話をしました。
0:03:27	全体の話ですね。
0:03:28	それをそれを一応分けてとらえているということですかね。まず、
0:03:36	はい。中部電力の盛です。最後のまとめのところに2点、いただいたように木曾
0:03:43	思いましたので二つにまとめておりますけども、基本的にはどちらも、全体を再点検して評価に漏れがないかと、論理構成に漏れがないかという部分だというふうに思っておりますので、
0:03:54	回答としては一つにまとめて回答させていただくことがいいかなと思っております。
0:04:01	そうですねはい。わかりました
0:04:04	一応、会合のやりとりの中でもう、
0:04:08	管理官の方のナイトウ等の話でも言ったと思って最終的には、本来会合資料でいうと、
0:04:16	市野新田になんの新井田新野。
0:04:19	新野2課、すいません番号の枝番忘れパツと出てこなかったんですけど、本体資料の方ですよ本体資料に相当する方をまとめていくんですけどということ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	ちょっとそのときにですねガイドとの対応もそうなんですけど、やっぱり浜岡のプレート間って結構何何度もですね、議論を重ねてきましたし、
0:04:41	途中でその痕跡再現モデルにしようとかかっていう形で、やはり方針も、そちらとしてはもともと波源モデルA Bはありましたってことなんですけど、そういう議論の上を直接経て、今の現在の最後の形になっているので、
0:04:55	それを、今現在、最後残ってるものですよ。そうですね。材検討材料とか残ってる素材をもとに、
0:05:02	今、これで基準適合の論理を述べるんだったらどうなるかっていうことで、
0:05:09	例えばそのモデルCなんかちょっと開門時にすいません私散らかしてしまったので途中で止められたんですけど、例えばモデルCとか、これ後から、
0:05:17	畑下モデルであるし南海トラフの広域モデル再現モデルをね、
0:05:22	だけど、これって、この話が出た時にいやまず広域のものがあつた上で敷地に影響を与えるモデルを作ってってそういう話ですよと女川なんかはそうやってますけど、
0:05:34	ちょっとそういう形で少しその波源モデル、
0:05:37	もう、位置付け並べ方ですよそういうところも不可能から考えて工夫してもらいたいんですよ。
0:05:45	そうすると、ちょっと日本海溝との比較のときにも、滑り量が5メートルぐらいだつてあつたんですけど、
0:05:51	いやあくま広域のものっていうよりも、敷地に影響がある検討波源モデルA Bって作る過程の、
0:05:58	ものなんですけど広域の議論というのは、そういう位置付けがあれば、別にそこで滑り量の違いが多少結果として生まれたとしても、
0:06:08	それは、いや比較、本来、比較すべきはAとかDとかね、そういうものと、非比較をしたいんですよと、敷地に影響があるものと比較をしたいんですよって話も成り立つのでっていう、
0:06:22	そういう使い方もできますよねとかですね、そういう話をすいませんしよとして先にそういうだらだらという話の仕事をしたので、ちょっと会合のときには、途中でやりましたけれども、
0:06:33	ちょっと少しですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:36	これまでの会合の経緯があって今の順番という形になってはいるんですけど、少し今ある検討上げモデルA B C Dとかですね、広域二つの広域モデルだとか、
0:06:50	そういうものを、じゃあこれスタートからなかったらどうなんだっていうですね、時系列の順番を少しどういう経緯を経て追加されたかとかどういいう、
0:07:01	いつの会合で追加されたかっていうふうにちょっと一貫とやっぱなっていて、1から論理構築を考えていただきたいっていうそういう話だったんですけど、ちょっと伝わりにくいですか。わからなければもう一度、
0:07:13	聞き返してください。
0:07:18	はい。中部電力の盛です。承知しております。痕跡再現モデルもしくは検討波源モデルの位置付けも含めて、再度
0:07:27	検討させていただきたいというふうに思っております。で、今、少し鈴木さんからもおっしゃられたような、今痕跡再現モデル二つあると。検討波源モデルも土木学会内閣と二つあるということで、
0:07:41	その辺りの位置付け、それぞれの広域、
0:07:44	に着目したモデル、敷地周辺着目したモデルの位置付けをもう少し書き込む必要があるかなということは感じておりますので、再整理させていただきたいと思います。
0:07:54	今の女川の資料でという話もありましたけれども、これはもうですね、
0:08:03	どうぞ、どうぞ。よろしいでしょうか。
0:08:05	すいません。
0:08:09	どうぞどうぞそのまま続けてください。
0:08:12	あ、すみませんありがとうございます。衛藤。
0:08:16	日本海溝側のサイトは高位キーの松波特性を考慮したモデルと、
0:08:22	三重宮城県とかの敷地周辺の特性を考慮したモデルということで、どちらも二つの特性を考慮したモデルを検討していると。
0:08:33	いうところだと思います。で、我々検討波源モデルC、広域の松波特性を考慮したので後から出しているというところがございます。
0:08:41	ので、そこについて、
0:08:43	再現モデルから出発したというところ、以前説明させていただいてるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	今内閣府も含めて、津波評価には取り込んでますので、その中で、広域の津波特性を考慮することによって、津波、
0:09:00	敷地の津波評価として見落としがないかという観点で、そういう検討もしたということだというふうに現時点では整理、
0:09:08	したいなというふうに思っております。なので敷地周辺の津波高に特化したモデルと、広域の津波の特性にも着目したモデル、日本海後のサイトと同じように、
0:09:20	検討波源モデルを作っていくという方針をきちんと整理させていただいた上で、その検討にあたっては痕跡再現モデルも、ここに作っていますというところをきちんと整理させていただきたいなというふうに思って、現時点で考えております。以上です。
0:09:37	はい。そこは御社が最後どういう、
0:09:41	取りまとめとして、論理構成でいっていかって話なので別にこうしなさいっていうつもりで申し上げたのではないですはい。あと女川の場合は最後まで広域のやつ残ってますけど、それは、
0:09:54	結局サイトバイサイトのところがあって、御社の場合はもうもはやモデルAとかDとCの関係、大小関係ってのは明らかなんで、別にその女川のまとめ資料を兼ねて作ってくださっていいことではないので、
0:10:08	はい。あとガイドの話もありましたけどもそれはそれで、上、こちらとしても結構かなと、ガイドで、言われてるようなことに対して自社としてはどういうふうにやったのかっていうのは、
0:10:18	そういう多少まとめ資料作る時にガイドの記載引用したりしてる者もあるにはあるので、
0:10:24	そこはもしそういうのやられるのであれば、それはよりわかりやすくなる資料だと思います。はい。
0:10:53	あ、中部電力の森です。もう少し確認させていただいて、よろしくどうぞ。はい。
0:10:59	はい、ありがとうございます。
0:11:01	パラスターの部分も、全体を再点検して、評価に漏れがなく、評価結果変わらないか確認することということで、
0:11:09	パラメータスタディの項目や幅に、
0:11:14	等について、どういうふうに考えているのかというような考え方や根拠は、現在も記載されてはいるんですけども再度取りまとめて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	ご説明させていただきたいと思っています。このあたり、もしくはプレート間地震の方針等について、ちょっとどのようにまとめる。
0:11:35	べきかと、どういう観点で、どういう資料が必要かというところについてもイメージがございましたら少し教えていただけるとありがたいです。
0:11:47	あ、すみませんパラスターの再点検の方ですか。
0:11:53	はい。まず、そちらの方、どのようにまとめるかというところ、もしイメージがあれば教えていただきたいです。
0:12:01	はい。もともと7月の会合で指摘をして、で、加工が少しやり方変えましたっていう、その作業するときに、
0:12:13	一応、
0:12:14	御社としても他にも、
0:12:17	例えば上昇側にもはねないよねとおんなじようなことがないのかなっていうのは、一応やられてるんですかね。そうね。
0:12:25	もし、やってないんであればこれからの作業だしやってたんであればいやこういう観点で、いや確認をして、パラスターとして、全体として漏れがないのを、こうやって、確認できているんです。例えば上昇側のところとかでも、
0:12:37	同じようなことがないんですかっていうのを見てますと、
0:12:40	いうことだったら、それをそんなふうにコメント回答してもらえればいいんですけど。
0:12:47	汗かい物前回の会合の場だとおそらく口頭でのよ、やりとりを主になってしまうので、そこは一旦、別海か次の会合で硬岩イトウくださいとただけで、
0:13:00	水に何か漏れがあると思ってるわけではないので、
0:13:04	7月の会合でこういうコメントを受けてこういうパラスター同じような抜けがないかは、こういうふうに確認をして、漏れがないことは確認ができましたっていう、
0:13:15	そういう説明資料を作ってくれればいいだけですけど。
0:13:29	はい。中部電力の盛です。
0:13:31	今回上昇側も、大小関係という意味でパラメーターの、
0:13:37	影響度合いというのを分析させていただいていますので、当間再点検の上、そこも含めて、上昇側も漏れがないということは確認したというようなコメント回答は、す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:49	説明、次回説明させていただきたいと思います。
0:13:53	以上です。
0:13:55	はい、ありがとうございます。例えばですね、上昇の多分、敷地前面は、多分これはどう考えても変わりようがないんですけど、
0:14:04	例えば取水層の方、もう言ってみると、ライズタイムのばらつき、
0:14:11	そんなにやっぱり大きくないですよ。こっちは例えばですよ、こっちはやらなくていいのをチェックしたの。
0:14:17	下降側と同じように、少しその同じようなものをやらなくてよかったの。いや、過去、これはちゃんと確認をしてやらなくていいといえるんです。それはちゃんと我々、
0:14:28	社内で検討した上で、
0:14:31	ライズタイムの不確かさを考慮して、そこで1個に絞って、し破壊伝播速度破壊開始点でやってるんですと。
0:14:40	これは、
0:14:42	何だ、水位下降側と違って、似たような結果について、
0:14:48	例えばライズタイム 150 が最大でしたけど 12090 とか 180 も、破壊伝播速度破壊開始の不確かさを全部計算するなんてそれはやらなくてもいいですと。
0:14:59	それはちゃんと確認をした上で出していましたよ。
0:15:02	そういうのを説明ができれば結構かなと思います。例えばですけどね。
0:15:14	はい。中部電力森です。ありがとうございます。
0:15:18	今、鈴木さんおっしゃられた例えば検討波源モデルAの取水槽側、今
0:15:23	影響が小さいということで概略パラメータスタディの時点で、着目するところとして検討波源モデルAは敷地前面も着目しておりますけれども、こちらの取水層の方しっかりパラメータスタディやったら、今影響が大きいBの方を上回らないかというような、
0:15:37	について、整理させていただく必要があるかなというふうに思っております基本的には
0:15:44	今の影響検討のところでもそういう影響が急に大きくなるというところは見えてないのかなというふうに思っておりますけれども、そこを明示的に説明させていただければと思います。以上です。
0:15:54	はい、ありがとうございます。盛さんおっしゃったような、もうそれも一つですね。はい。
0:15:59	そういう逆転がないっていうのはちゃんと確認してますと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:02	はい。
0:16:29	中部電力の盛です。ありがとうございます。衛藤。
0:16:32	パラメータスタディのところについては、少しまとめるにあたっての視点をいただきましたのでそこも含めて全体再点検をさせていただきたいと思います。
0:16:41	1点目の方も、
0:16:44	資料概要のページ、今、文字で書いてあるようなところはもしくは、そのあとに、ちょっとスライド枚数がどうしても多いので、
0:16:54	プレート間地震全体の概要を数ページでまとめたようなものを検討したいなというふうには思っているんですけども、ここについても、
0:17:04	間瀬、一連の体系的な内容として整理されているかの確認というところで、衛藤。
0:17:11	先ほどのガイドとの対応を整理させていただくということはもう申し上げたんですけども、まとめ資料冒頭に記載する内容として、どういうものが必要かというところについても、もしイメージがございましたら、教えていただけますでしょうか。
0:17:27	はい。そういうまとめ資料の冒頭ですかそれともまとめ、
0:17:30	資料の中で、こういうものは、何か本編というよりも、補足でいいんじゃないのっていう、そういう話ですか。
0:17:41	はい。ありがとうございます。今の本編のところの頭の方で、今回は文字ベースで、
0:17:49	3ページぐらいで、プレート間地震の津波評価の全体概要というふうにまとめさせていただいているんですけども、
0:17:58	このこういう文字ベースの、もう少し体系的な充実化を図るということは今考えているということと、
0:18:06	今8、前回資料でいうと何度も見ていただいている8ページのような、
0:18:13	波源モデルの検討フローというのを付けておりますけど、ちょっとこれだけだと、
0:18:18	方針というのがわかりづらいですので、文字ベースにしたようなものを、次なるようなものとしてもう少し絵も載せたような、概要の数ページ、
0:18:29	作る必要があるのかなというふうにイメージはしているんですけども、そういうイメージで、
0:18:35	体系的な整理をしていけばよろしいのでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:46	うん。もともとの、
0:18:49	文字で書かせ書いてるところの文字が細か過ぎるっていうのはこれいつもの話では、
0:18:55	あるんですけど、
0:18:57	これじゃないな、12月13。
0:19:03	できるだけ、
0:19:05	文字でただら書いているもの、これは何とかしてもらいたんですけど、やっぱりこうやってることよりも歩懇談会で概要のところをまず方針として、
0:19:15	全体こういう方針でやりましたっていうのは書いてもらいたんですけどもしかししたら何々をしたっていうのの裏返しかもしれませんけどね。
0:19:24	ちょっとそういう
0:19:27	まず、こういう方針でやって、そうするとこういうフローで、検討しました。なんで、概要もそんなに何ページも使って説明するものではないので、
0:19:37	御社があった津波プレート間の評価の、
0:19:40	全体の方針はこれです。
0:19:43	飯野を、
0:19:44	いかに端的にし、示せるかなんですけど、それをどう書けばいいですかっていうとちょっとそこまではすいません、あまりコンサルになってしまふんでそこまでありませんけど、
0:19:56	言い方はあれかな。
0:19:59	規制庁の名倉です。
0:20:03	ちょっと今手元に資料ないんですけど資料の中で、
0:20:07	何て言うのかな評価方針と書いてるところがみんな加古下になってるんですよね。
0:20:12	だからじゃあ方針にすればいいかって話でそこだけ直る話でもないと思うんですが、
0:20:20	今の評価断面で、
0:20:23	今の、現時点の段階で、全体の方針がちゃんと述べられているんでしょうか。
0:20:30	なんかやったやった。
0:20:33	こういうふうな経緯でこうしましたっていうことを羅列してるだけのような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:37	気がするんですが、
0:20:40	ですから、指摘したからやりました。
0:20:44	パラメーターを拡充してやりましたっていうのもじゃあ、このパラメーターはこっからこういう考え方でこういった知見があってそういった知見を踏まえて、
0:20:54	それはパラメータを設定をしましたっていう、今の現時点でのパラメータの設定、
0:21:00	この方針に置き換えて全部表現してますか。
0:21:05	そこら辺をもう1回ちょっとチェックしていただきたいんですが。
0:21:09	何か
0:21:10	あっちゃこっちゃんにいろいろ全部書いてあって、方針として書いてなかったり、
0:21:16	何かそういうところが結構散見されるところがあったような気がするんですけどね。
0:21:23	そういったところをもう1回全部考え直して、評価方針でぴしっと書いてもらえませんかっていうのがコメントです。
0:21:34	能勢説明の仕方を変えます。まとめのほうで文章を入れればいいですよ。ね。そういう話じゃないっていうふうに私は認識しています。
0:21:47	はい。中部電力の森です。ありがとうございます。よくわかりました。
0:21:52	先ほどから
0:21:54	申し上げている、特に痕跡再現モデル或いは検討波源モデルの位置付けの部分は、きちんと更新かけていないかなというふうに感じておりますので、そこも
0:22:05	ちょっと綺麗にさしてきちんと記載させていただく。ちょっとそのほかも含めて、
0:22:10	各全体の方針はもしくは、各項目ごとの方針についてきちんと書くという時点で、再検討させていただきたいと思います。衛藤。
0:22:22	ちょっとその上で、どういうふうに説明するのがしやすいかという意味で、先ほどちょっとまとめの部分ということでお聞きさせていただきましたけれども、まずはその方針の部分をきちんと書くところを
0:22:34	検討させていただきます。以上です。
0:22:44	規制庁の名倉です。
0:22:47	一番。
0:22:49	何て言うのかな、イメージとして重要なのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:53	今後申請を補正するときに、
0:22:58	どういうふうを書くか。
0:23:01	おそらく申請書に書く内容、
0:23:04	ていうものについては段階的に、
0:23:07	論理構成を書き下していくってということかと思うかもしれないですけど、
0:23:13	全体方針があって、方針の中で評価を構成する。
0:23:20	解析とか検討。
0:23:22	評価それぞれに関して、
0:23:24	また方針を述べたり、
0:23:27	考え方を述べたりするっていうところが多分、そういうふうな階層構造の繰り返しになると思うんですが、申請書は、
0:23:37	その時にちゃんと今の取りまとめ資料、
0:23:40	ベースで、その申請イメージと合うかどうか。
0:23:45	ていうところが多分重要なと思いますので、
0:23:49	そういった補正のところも少し考えた上で、
0:23:54	チェックしていただければと思います。
0:24:04	はい。中部電力の盛です。承知しました。今回頭の方の全体概要文字ベースで書かさせていただいたところは、
0:24:12	ちょっとそこも意識しております、まず全体の方針ということでどういう項目をどういう考え方で
0:24:20	検討することにするのかと。
0:24:22	で、各項目ごとにブレイクダウンした上で、どういう項目をどういう考え方で、どういう効果方法でやるのかというところを、
0:24:32	書いたつもりです。で、さらにその各
0:24:35	項目の部分についてより詳細にという部分が、今回例えば検討波源物設定の中の、各それぞれの項目の
0:24:44	設定の考え方、パラメータスタディの幅の妥当性等の、よりちょっと細かいところの方針が書けてないというところがあるかなというふうに思っておりますので、
0:24:55	補正もちょっと意識しながら、記載を検討させていただきます。
0:25:00	以上です。
0:25:19	規制庁の名倉です。
0:25:22	じゃあ、まずはちょっとチェックをしていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:27	1回イメージを、そちらがもうある程度もう反映してると。
0:25:32	だからチェックすれば再点検して、
0:25:35	整理されてるか否かを確認して説明すればいいんだっていうコメントになってるんだけど、
0:25:42	それで本当に完成形としてでき上がってくるかっていうのは、1回出してもらってから、イメージが合うか合わないかってのをもう1回、
0:25:53	見ていった方がいいかなと思いました。
0:26:03	中部電力浜野でございます。
0:26:07	名倉さんがおっしゃられてることで理解しているつもりですのでちょっと、もともと、いろんな、
0:26:14	議論をずっと尽くしてきてやってきているという中で、例えばライズタイムを60秒まで設定するところで、どういう検討をした上で、何を、
0:26:27	重視してこういう設定にしたかっていうところなんか、今はもう補足のほうに飛ばしちゃって、細かいこと何も書けてないところもありますのでそういったところも、
0:26:39	1年、一度全体を見渡してですね、今、
0:26:43	ここまで計算、評価してきた。
0:26:46	中身っていうのがどういう立て付けでやってきたかっていうのが読めるような形に、再度1回全体を整理していきたいと思っております。
0:27:13	はい。他、よろしいですか。
0:27:16	ちょっとこれ、こちらとしてどういう位置付けで使ってるのかっていうのもあるので、例えばその例示的に申し上げますけど、結構その本編のその3章の行政機関による津波評価の確認って、
0:27:29	これも、例えばこういうものって、一応、
0:27:33	20ページぐらいあるのかな、こう説明してるんですけど、結局この省令とか何を確認してそれを次の検討波源モデルの設定の方になんかどう生かしていこうとしてるのかっていうのを、
0:27:45	これも何かこういうことが書いてあったこういうことが書いてあったって言って、
0:27:51	それ書いてあるだけで、じゃそれって触れとかの津波評価の中でどう斟酌していくことになるのかっていうのは、やっぱり小もによって賞でこれーこのファン賞って結構独立してしまっていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:02	もう次の検討波源モデルのところに行くと、あんまりこう行動の関係というよりも、いきなりもやっぱり内閣 2000 時からパラメータこう持ってきましたとかってあって、省によっては、
0:28:14	いやこういうものが書いてあって我が社としてこれをもとに、どうこのプレート間の中に取り入れていこうと思いますかっていうのを書いてないやつもあってですね。
0:28:23	それがちょっと参照割とそれが強く出てたので、ちょっとこれ、今完全に税前の章と後の章とも何か繋がりがないので、例えばこういうものなんかもですね、
0:28:36	これからどこで行ったんだっけな、津波堆積、
0:28:39	堆積物の会合で言ったのかな。
0:28:42	例えばその論文がいっぱい書いてあって並んでいて、結局これらの知見をもとに、最後、自社の評価としては何を言いたかったんですか書いてありますよね。多分堆積物の時に言った記憶があるんですけど、
0:28:55	ちょっとそういうものがないかもですね。本当にしてください。おそらく、この辺のやつって、内閣府の最大クラスモデルって結構やり過ぎなモデルですよっていう説明をしているときに、
0:29:06	この資料なんかも結構入ってると思うんですけど、さはさりながら今としてはそのM9 クラスの、
0:29:12	モデルをつかって評価してるわけなので、
0:29:15	ちょっと何かこう、位置付けというか、何か浮いてしまってるような、もう項目がないとかですね、自社としてどう考えてるかって知見を収集してこの試験をもとに、
0:29:26	とプレート間の評価に反映しようとしたっていうのが、そこまで書いて書き切っていないような項目がないかっていうのも、一緒に見ていただけたらと思いますけど。
0:29:39	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。
0:29:42	今のそのコンセプト痕跡再現モデルの検討も、今ご指摘いただいた行政機関による津波評価の確認も、
0:29:51	プレート間地震の津波評価全体をどういう方針でやるのかという中での項目もしくは、検討波源モデルをどういうふうに設定するのかという中でのチェック項目の一つですので、
0:30:01	今のご指摘事項は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:05	まとめいただいた名倉調整官の言葉を踏まえて、整理されているか確認することということにさせていただいておりますけれどもこの構成も含めて、検討が必要だなというふうに思っています。
0:30:18	ちょっと2ポツ3ポツ今いただいたようなところも含めて、何でこれをやるのかというところでそれをどういうふうに検討波源モデルの津波評価に反映しているのかというのが、わかるように、
0:30:29	きちんと整理させていただきたいと思います。以上です。
0:30:33	はい。はい。その内数だと考えてもらって結構ですはい。
0:31:05	中部電力間野でございます。ありがとうございます今の。
0:31:10	3章なんか非常に
0:31:12	典型的によくわかりました流れでやっているものですから来確かに当時は、こういう行政機関もちゃんと確認することというコメントをいただいてそこを確認。
0:31:23	しましたという回答をして、本編にそこを載せてるんですけどそれを踏まえてこれを検討波源モデルに持っていきますよというそういう、
0:31:34	繋ぎがおそらくいろんなところにあっても、
0:31:38	各支部コメント回答したやつが、そのデータとして載っちゃってるものですから、多分、
0:31:44	全体像がブチブチ切れちゃってるようなところが多いのかなっていうふうに思っておりますので、改めてそういった面も含めて全体を確認して参ります。
0:32:00	はい。よろしく申し上げますちょっと会合のときには言いましたけど確かに小原向井の場合かなり会を重ねているのでちょっとこういうやり方はしますけど、並行して、
0:32:11	他の表、プレート間以外のやつとかも聞くのでちょっとそういう中で、時間をかけてですね、多少並行して別の津波の評価も聞くので、
0:32:21	そういう中で、じっくり時間かけてですね、時間かけてって言っても、限界があると思いますけど、
0:32:30	並行して作業を進めてもらえばと思いますんで、
0:32:33	他はよろしいですか。
0:32:38	はい。ありがとうございました。
0:32:40	よく
0:32:42	ご指摘事項の中身、理解できましたので、しっかり顕現して、全体がわかる取りまとめ資料を作成して参りたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:05	すいませんすいませんはい、じゃあ、よろしければ以上でラップアップの面談は終了したいと思います。
0:33:12	お疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。